



高教第311-47号
令和2年8月14日

県立学校長 様

群馬県教育委員会事務局
高校教育課長 小林 智宏
特別支援教育課長 町田 英之
健康体育課長 矢島 貢

新型コロナウイルス感染症に係る「警戒度引上げ」に伴う県立学校の対応等について

このことについて、全国で新型コロナウイルス感染者が増加し、本県においても増加傾向が見られ、市中感染の広がりが懸念されることから、今般、警戒度を現状の「1」から「2」へ引き上げることが決定されました。

県立学校については、これまで、各学校において感染防止対策に努めていただき、集団感染等も発生していないことから、現時点では、下記に留意の上、通常登校を継続することとします。

ただし、今後の状況によっては、各学校での対策の実施状況や県内あるいは学校が所在する地域での感染の広がり、感染ルート等を踏まえ、必要に応じて、学校単位で分散登校等を実施することとします。

また、警戒度にかかわらず、児童生徒又は教職員に感染者が発生した場合には、健康福祉部等関係機関と協議の上、必要な範囲で学級閉鎖や休業等の措置を行うこととします。

なお、「社会経済活動再開に向けたガイドライン」については、今般の対応等を踏まえ、今後、見直しを検討することとしていますので、承知をお願いします。

記

- 学校における感染防止対策の徹底について
 - 「学校再開に向けたガイドライン」及び「衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」等を踏まえ、改めて感染防止対策を徹底する。
- 各教科における学習活動及び学校行事等の実施について
 - 令和2年7月27日付け、高教第311-46号「各教科における学習活動及び学校行事等の実施に係る留意事項について」（特別支援学校については、「通常登校の実施に向けた準備に関する留意事項（6月19日）」（以下「留意事項」という。））を踏まえ、感染防止対策を徹底した上で実施する。
 - なお、集会や学校行事等の実施に当たっては、3密を避けるなどの感染防止対策を徹底する。
 - 県外を訪問したり宿泊を伴ったりする行事等については、慎重に検討する。
- 修学旅行について
 - 令和2年8月7日付け、高教第421-10号「令和2年度県立高等学校・中等教育学校における修学旅行の実施について」（特別支援学校については、「留意事項」）により、旅行経路の変更を含め、延期（次年度への延期を含む）、方面、日程の変更又は中止について検討する。
- 部活動について
 - 通常登校時は部活動を継続。
 - 県がHP等で公表している「県外移動を自粛すべき地域」との対外試合等は自粛（ただし、全国大会の代替大会等は除く）。
- 基礎疾患や日常的に医療的ケアがある児童生徒等について
 - 医療的ケアがある児童生徒や基礎疾患等があることにより重症化するリスクが高い児童生徒等については、保護者の協力のもと、地域の感染状況等を踏まえ、主治医や学校医、医療的ケア指導医に相談の上、個別に登校の判断をする。
 - 病院や施設への訪問教育等については、実施の可否等について関係者と十分に協議の上、判断する。

【担当】

高校教育課 027-226-4645
特別支援教育課 027-226-4656
健康体育課 027-226-4711



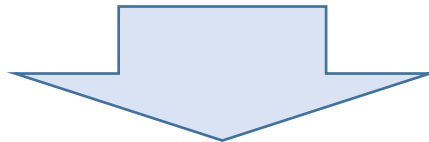
令和2年8月14日

警戒度2への引き上げに係る県立学校等の対応について

教育委員会

【現在の状況】

- ・ 首都圏において新型コロナウイルス感染者が増加しており、本県においても市中感染の広がりが懸念されている。
- ・ 学校再開以降、「ガイドライン」により新型コロナウイルス感染症対策が各学校で確実に実施されており、学校内における集団感染は発生していない。
- ・ 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」では、「地域の感染状況に応じた感染症対策を講じながら、可能な限り、授業や部活動、各種行事等の教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障していくことが必要。」としている。
- ・ 近県でも一斉休業等を行われていない。



【ガイドラインの運用の方針（県立学校）】

- ・ 警戒度2の時点では、感染防止対策を徹底しながら通常登校を継続し、各学校での対策の実施状況や県内あるいは学校が所在する地域での感染の広がり、感染ルートなどの状況を踏まえ、必要に応じて学校単位で分散登校等を実施。
- ・ 通常登校時、部活動については継続。なお、県が定める「県外移動を自粛すべき地域」との対外試合等は自粛（ただし、全国大会の代替大会等は除く）。
- ・ 児童生徒または教職員に感染者が発生した場合、健康福祉部等関係機関と協議の上、必要な範囲で学級閉鎖や休業等の措置を行う。